



クラブ 会報

CLUB BULLETIN (WEEKLY)

鶴岡ロータリークラブ

TSURUOKA ROTARY CLUB

D-253

創立 S 34.6.9

承認 S 34.6.27

例会場	鶴岡市馬場町	物産館3階ホール
例会日	毎週火曜日	12:30-13:30
事務所	鶴岡市馬場町	商工会議所内
	電話	0235 (2) 5775

会長	小松	松川	広	穂
幹事	皆	川	英	二
会報委員	上	野	三	郎
	高	橋	耕	二
	内	山	喜	一
	板	垣	俊	次

No. 1031 1979. 10. 30 (火) (雨) No. 18

ウィンター紹介

藤井久万吉君	印刷業	秋田R.C
本間留吉君	食料品小売	温海R.C
三浦正志君	自動車車検	鶴岡西R.C
菅原年雄君	建築業	

◆ゲスト紹介

佐宗清氏 田中貴金属KK 鶴岡工場

会長・幹事報告

小松広穂君

1. 本日は斎藤利男君の御好意により職業奉仕週間として、会員職場見学を行なう事が出来ましたこと有難く厚く御礼申し上げます。

LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で 道を照らそう

2. 10月28日、日曜日当鶴岡クラブがホストとなり、R.I第253地区、庄内分區、I.G.Fが行なわれました。参加ロータリアンには大へん喜ばれまして大成功裡に終了致しました。

フォーラム特別委員長の新穂君を初め幹事、S.A.A、登録、接待親睦、記録等の委員長、委員の皆様本当に有難うございました。厚く御礼申し上げます。尚、記録委員の方々は引き続き御苦勞様ですがよろしく御願ひ申し上げます。

3. 10月29日、理事会を開きS55年3月オーストラリアへの交換学生として林崎に住所を持つ鶴岡北高校生2年梅木江理さんを地区の方に推せん致しました。

皆川英二君

1. 例会変更の御知らせ

酒田R.C 例会1,000回記念を祝して

酒田R.C、酒田東R.C、遊佐R.C、八幡R.C、余目R.C、立川R.C、合同例会開催。

日時 11月28日(水) PM 12:30

ところ 酒田産業会館4Fホール 登録料 ¥1,500

PM 5:00 東急イン 登録料 ¥5,000

例会ではR.C研大家小堀憲助先生(中央大学法学部教授川崎北R.C)の講演会を開催。

2. 原町R.C電話新設(02442)4-1210

委員会報告

青少年奉仕委員長 菅原辰吉君

去る10月26日、産業会館で開催されました青少年健全育成懇談会は、各委員から活発なご意見、ご高説を拝聴し、有意義な実りある会となり、深く感謝しております。

尚、来る11月10、11日の両日に亘り、金峰少年自然の家で小学生52名、R.A.C、I.A.C、R.C、計9名の宿泊訓練が開催されます。

会員で参加のご希望がありましたら、日帰りになりますが、開会式にご激励の言葉など頂ければ幸いと存じご案内致します。

◆職場見学

斎藤利男君

S54.10.30

鶴岡R.C例会変更於田中貴金属(株)鶴岡工場 説明者

斎藤工場長

佐宗チーフ マネージャー

1. 会社概要について

創業 明治18年

会社設立 大正7年7月31日

資本金 2億5千万円

事業内容 貴金属地金の販売及び輸出入と貴金属を素材とする各種工業用製品の製造販売及び輸出入

2. 事業所及び製品案内 別紙添付資料により説明致しました。
 3. スライド説明内容 南アフリカのヨハネスブルグ市リバノン金山での金の採掘の様相をスライドにより説明した。

(内容)

金鉱山は一国を思わせるような40~80km四方に広がり雄大な草原の中にあります。その中には発電所、学校、病院等あらゆる施設があり、その中で働く者は10代の原住人である。

鉱山は地下2,500M~3,000Mを縦溝で掘り、さらに横溝を数百メートル進んだ地点であるが熱気、ガス等が発生して地上の環境から想像も出来ない場所です。知る限りでは命をかけた大変な作業であります。

食生活についても貧しい状況であります。そんな中で彼等が最も楽しみを感じている事は、働いた賃金でミシンを買い、技術を修得して国へ帰る事です。一人の青年が自分のミシンの前で撮影されたスナップが印象的でありました。

4. 知っておきたいやさしい金の基礎知識として、下記の小冊子を資料としてお渡ししました。
1. 金の常識 3. GOLD1979
 2. 私は金地金 4. Tameka Gold Today

◆田中グループの事業所案内

佐 宗 清 氏

営業部門及び販売店

- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 本 | 店 | 東 | 京 | 都 |
| 2 | 仙 | 台 | 出 | 張 | 所 |
| 3 | 水 | 戸 | 店 | 水 | 戸 |
| 4 | 長 | 野 | 店 | 長 | 野 |
| 5 | 名 | 古 | 屋 | 店 | 名 |
| 6 | 大 | 阪 | 店 | 大 | 阪 |
| 7 | 北 | 九 | 州 | 店 | 北 |
| 8 | 熊 | 本 | 出 | 張 | 所 |

- | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 16 | 田 | 中 | 電 | 子 | 工 | 業 | 東 | 京 | 都 |
| 17 | E | E | J | A | 平 | 塚 | 市 | | |
| 18 | 田 | 中 | マ | ッ | セ | イ | 東 | 京 | 都 |
| 19 | 田 | 中 | ケ | ミ | カ | ル | 名 | 古 | 屋 |
| 20 | し | ろ | が | ね | 興 | 産 | 東 | 京 | 都 |

海 外 関 係

- | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 21 | 喜 | 星 | 金 | 属 | 工 | 業 | 韓 | 国 |
| 22 | 田 | 中 | エ | レ | ク | ト | ロ | ニ |
| | ス | ・ | シ | ン | ガ | ポ | ー | ル |

工 場 部 門

- | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 鶴 | 岡 | 工 | 場 | 鶴 | 岡 | 市 |
| 10 | 市 | 川 | 工 | 場 | 市 | 川 | 市 |
| 11 | 平 | 塚 | 第 | 一 | 工 | 場 | 平 |
| 12 | 平 | 塚 | 第 | 二 | 工 | 場 | 平 |
| 13 | 伊 | 勢 | 原 | 工 | 場 | 伊 | 勢 |
| 14 | 神 | 戸 | 工 | 場 | 神 | 戸 | 市 |

関 連 会 社

- 15 (株) 山 崎 東 京 都



会 社 の 歩 み

- 明治18年— ○田中商店として創業（於現本社所在地）
明治22年— ○白金工業製品の国産化に成功
明治40年— ○電気ステム白金細線加工に成功
○オスミリジウムの精錬を行う
○理化学用白金器具を勧業博覧会に出品
大正3年— ○火薬用塩素酸カリ製造用白金電極板製作
大正4年— ○白金イリジウム合金注射針完成
大正7年— ○田中商店株式会社に改組織
大正10年— ○金ニッケル志賀合金針製造に成功
○通信機用接点材料1号、3号合金製造開始
大正14年— ○白金一金、パラジウム一金、合金による人造織維紡糸口金（ノズル）製造に着手
昭和5年— ○同系会社(株)山崎商店の経営を継承
昭和5年— ○触媒用白金網の国産化に成功
昭和8年— ○触媒用白金網にロジウムを合金して、その改良を計る
PAT No. 104386)
昭和11年— ○田中梅吉取締役会長死去 田中一郎取締役社長に就任
○白金精錬工場及び銀電解工場を新設（砂町工場）
○白金、白金ロジウム熱電対完成
○電気雷管用白金イリジウム線完成
○白金精製及び銀電解工場を建設
昭和20年— ○4工場中3工場焼失
○本店工場を基盤に社内充実を図る
昭和23年— ○厚生省より歯科用貴金属地金の製造販売の指定を受ける
昭和24年— ○大阪店設置
○ノズル工場新設
昭和28年— ○金張り、カラット金の製造部門新設
昭和30年— ○砂町工場完成
昭和31年— ○英国JM社と日本総代理店契約
昭和32年— ○電子工業用金ガリウム線製造
昭和33年— ○北九州店設置
○クロスバー接点生産開始
昭和34年— ○平塚工場新設
昭和35年— ○神戸工場、名古屋店設置
昭和36年— ○田中電子工業(株)設立（三井金属と合併）
昭和38年— ○東京オリンピック公式記念メダルの製造
昭和39年— ○創立80周年
昭和40年— ○EEJA設立（米国セルレックスと合併）
昭和41年— ○平塚第二工場完成
○Xバー型自動交換機接点の新材料開発
昭和44年— ○田中マッセイ社設立（英国JM社と合併）
昭和45年— ○田中ケミカル(株)設立（パイロットインキ、万年筆と合併）

- 田中貴金属販売(株)設立
- 万国博覧会参加
- 昭和48年— ○伊勢原工場、市川工場稼動
- 昭和51年— ○熊本、仙台出張所設置
- 昭和52年— ○鶴岡工場完成
- 昭和53年— ○ロンドン金市場より公認溶解検定業者として認定される
- 田中エレクトロニクス・シンガポール(株)設立

田中貴金属グループ製品

業 界	製 品	製産工場	製 品 使 用 個 所
自 動 車	接 点 触 媒 銀 ろ う	鶴岡工場	電装品 排ガス処理 部品溶接
光学ガラス ガラス繊維	る つ ぼ ブ ッ シ ン グ		レンズ溶解窯 紡糸装置
人 造 繊 維	ノ ズ ル		ク
電 子 工 業 電 子 管 そ の 他	球、パレット、デスク、 金線 めっき、はんだ アパーチャープレート、 オリフィス		トランジスター、ダイオード I.C 電子顕微鏡
金 属	熱 電 対 抵 抗 測 温 体	鶴岡工場	測定器
装 飾 品	金張、地金、めっき		万年筆、アクセサリ
医 療	地 金、 針		歯科材料
家 庭 電 気	接 点、り ん 銅 ろ う、銀 ろ う	鶴岡工場	テレビ、冷蔵庫 テープレコーダー 電子レンジ オーブントースター

業 界	製 品	生産工場	製 品 使 用 個 所
通 信 機	接 点	鶴岡工場	電話交換機 無線通信機
そ の 他	コネクター プリント基板		コンピューター 電子機器
基礎化学	理化学器具 分析用試料		実験器具 試薬
応用化学	触 媒		アンモニア酸化 石油精製 医薬品製造 水素精製装置
其 の 他	めっき液 めっき装置 電極 陽極板 電極 化合物		工業用、装飾用めっき 化学工業全般 電解、防食 海水電解用電極 フィルム
時計工業	金張 カラット金 めっき		時計側 文字、針 バンド
精密機械	接点 熱電対 抵抗測温体 ペン先 金張	鶴岡工場	カメラ、8ミリ 計測器 記録計 万年筆 メガネフレーム
其 の 他	触 媒		ガスもれ警報器

鶴岡工場の沿革

工業団地の概要

- S49. 3 団地取得
- S51.10 第一期工事着工
- S52. 9 第一期工事完成
- S52.10 操業開始
- S52.10 伸線工程 } 移設
- 有線工程 }
- S53.10 TSC工程 } 移設
- TCCR工程 }
- S54. 3 第二期工事着工
- S54. 3 TCCC工程移設
- S54. 6 TCCB工程移設
- S54. 6 第二期工事完成
- S54. 7 表面処理工程操業
- S54.10 第三期工事着工
- S54.12 第三期工事完成予定
- S55. 3 プリント板事業部移予定



鶴岡工場平面図



敷地面積	20,000 m^2
建築面積	2,254.21 m^2
床面積	1 F 2,215.78 m^2
	2 F 1,264.42 m^2
	延べ 3,480.20 m^2
建ぺい率	60% > 13.87%
容積率	200% > 19.89%
用途地域	工業地域
防火地域	指定なし

従業員数

緑地
理動場

正社員 男子	38名
女子	21名
準社員 男子	11名
パート	43名
合計	113名

